

第1号議案 第10期事業報告

I. 第10期事業 総括報告

シルバーアドバイザー・ネット大阪（以下SAネット大阪という）は平成16年度からNPO法人設立につきまして準備会で審議を開始しました。平成18年4月の大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会（以下SA連協という）の理事会で設立することにつきまして承認されました。同年4月に設立総会を開催。同年5月に大阪府に申請をしまして、9月にNPO法人として認可されました。

今年度は設立10年目の節目の年になりました。後ほど各事業部での報告がありますが、各事業部の企画が定着してまいりました。伝承おもちゃづくり事業部の奇数月開催の「手づくりおもちゃ教室」開設。おもしろ算数教室事業部の「サポーター養成講座」の開催。国際交流事業部の国際交流サロンの開催など本年度も各事業部の行事を定期的にも実施できたことは大きな成果だと言えます。広報関係では「SA・ネット大阪ニュース」の発行とホームページの充実を図ることができました。高大の広報紙「れいんぼー」ではSAネット大阪の活動が紹介されました。

また今年度は主たる事務所をNPO法人大阪府高齢者大学校（以下高大という）の事務所内に定款を変更し関連団体との連携を深める体制ができました。

NPO法人大阪区民カレッジ（以下区民カレッジという）、NPO法人大阪アクティブシニア協会（以下大阪アクティブシニア協会という）、同窓会組織の校友会など関連団体との連携を一層深めることができました。現在活動休止中の「介護福祉用具説明員」活動に代わる事業展開を図ることが今後の課題となりました。会員数は横ばい状態でこの件も今後取り組むべき課題として残りました。

II. 事業部 活動報告

1. 伝承おもちゃづくり府民塾事業部 活動報告

- ① 従来より活動している幼児、児童対象の「おもちゃづくり出前講座」と「区民カレッジ受講生」や、「おもちゃづくり教室」（以下：「教室」と略します）を通じて、おもちゃづくり指導者養成を意図した活動を図ってきました。
 - ・その成果として、区民カレッジ受講生が、「天王寺区民センター」でのイベントに参加、多くの市民に喜ばれましたし、「教室」参加者はそれぞれの地元での活動に役立ててくれました。
 - ・「教室」は、前年まで「シルバーアドバイザー養成講座」（以下SAという）修了者対象でしたが、今年度から一般市民も参加できる態勢にしました。
- ② 前年度から参加している障がい者対象のおもちゃづくり出前講座は本

年も実施、予想以上に障がい者に喜ばれ、交流交歓ができました。

- ③ ただ、出前講座の機会が減り活動の対象を拡げる工夫が必要です。「教室」も更に SA 連協会員や、おもちゃづくり（世代間交流）に興味を持つ市民にも参加してもらえるよう積極的にアナウンスする必要があります。
- ④ 年間収支は助成金の交付が得られず、収支のバランスが崩れ大幅な赤字となりました。
- ⑤ 年間イベント参加回数 8 回、延 11 日、講師参加者数 延 62 名、来場者 1457 名、おもちゃづくり教室（奇数月開催） 年 6 回、参加延人数 93 名

2.おもしろ算数教室事業部 活動報告

- ① 出前教室・・・高齢者向け 6 回 小学生向け 1 回 実施
 - ・高齢者向けに、継続的に実施をしているところでは、参加者が、楽しんでおられる様子が、人数の増加にあらわれています。皆さん「いつまでも心身共に元気で過ごしたい」と、参加することを楽しみにしておられます。
 - ・小学生向けの行事では、高齢者と異なるので、緊張して準備をしますが、時間いっぱいパズルに熱中している子どもの姿に、感動しています。
- ② パズル体験・・・7 回実施
 - ・四天王寺の古本市では、おもちゃづくりに来た 4 歳の子どもが、パズルに熱中し 4 枚も挑戦し、「明日も来る」と嬉しい言葉を残して去りました。
 - ・かがやきフェスタでは、昨年より参加者が倍増しました。子どもと孫を連れて 3 人で参加し、2 時間以上挑戦していました。アクティブシニアフェスタ 2016 でも、希望者が多く、机上は大混乱という状況でした。
- ③ 講座を実施・・・八尾市生涯学習センターと共催で、講座を実施
 - ・体験会・初級講座・中級講座・上級講座・サポーター養成講座・サポーター認定会と、実施しました。
 - ・新たにサポーター 7 名が誕生しました。
- ④ サポーター会・・・春と秋に実施
 - ・新パズルの紹介や、情報交換により、サポーター間の交流を深めました。

3.国際交流事業部 活動報告

- ① 原則毎月第 4 月曜日に国際交流事業部運営委員会を開催し、主たる活動の国際交流サロンや国際交流に関する新しい企画・運営等について検討しました。
- ② 国際交流サロンを 3 回開催しました。
 - (1) 第 31 回は 6 月 14 日に大阪在住のイタリア人アレッサンドラさんを講師にお迎えし、大阪日本語教育センターで開催しました。「イタリアの日常生活を知ろう」というテーマで参加者は 59 名でした。第 2 部では 13 か国 13 名の留学生及び講師を交えて交流会を実施しま

した。

- (2) 第32回は11月15日に大阪大学のインド人留学生ニキル アドカールさんを講師にお迎えし「インドの魅力を語る」というテーマで講演をして頂きました。参加者は41名でした。

第2部では、5か国6名の外国人の方及び講師を交えて交流会を実施しました。

- (3) 第33回は2月28日に高大との共催でアネックスパル法円坂7階なにわの宮ホール及び3階の和室を使用して「Japan Festival」というテーマで開催しました。

高大語学系受講生76名、外国の方々36名、スタッフ5名の117名が参加しました。

午前中は日本の文化紹介と体験という事でお茶、書道、折紙、けん玉、福笑いなどを通して高大受講生と外国の方々との交流。お昼は班別に分かれて食事をしながらの交流、そして好きな日本語はどんな言葉ですかという外国の方への笑いを誘うインタビューがあり、最後に大道芸南京玉すだれ、タイダンス、阿波踊りの演技披露と飛び込み参加。その後、日ごろ使ったことがない小道具を使って出演者と一緒になっての体験で大いに盛り上がり、受講生、外国の皆さん達は大満足で終日笑顔が絶えない国際交流サロンとなりました。

4. 広報部 活動報告

① 広報紙の発行

- (1) 広報紙「SA・ネット大阪ニュース」は、年2回（7月、11月）の発行、会員交流の場として会員かわら版コーナーを新設し、活動状況の発信をしました。
- (2) 「SA・ネット大阪PRチラシ」をリニューアルしSAネット大阪のPRに努めました。
引きつづき高大校友会のPRコーナーのラックにも配架し、SAネット大阪のPRに努めました。
- (3) 関連団体の「アクティブシニアフェスタ 2016」や「高大文化祭」に参加し、PRコーナーでSA・ネット大阪のPRに努めました。

② ホームページの推進

- (1) SAネット大阪主催のイベント「国際交流サロン」、「おもちゃづくり教室」、「おもしろ算数教室」等の更新と新たにトップページに各事業部「トピックスコーナー」を設けホットなニュースを定期的に届ける様にしました。
- (2) 引きつづき関連団体主催の「高大文化祭」、「アクティブシニアフェスタ 2016」やSAネット大阪会員の活動する「千里英語サロン」、「おしゃべり会」等の掲載による更新をしました。

第2号議案 第10期活動計算書 報告と監査報告

- I 第10期 活動計算書 報告・・・別紙「決算報告書」を参照願います。
- II 第10期 監査報告・・・・・・・・次頁を参照願います。

監 査 報 告 書

特定非営利活動法人

シルバーアドバイザー・ネット大阪

理事長 武内 信憲 様

平成27年4月1日から平成28年3月31日までの、平成27年度における会計並びに業務の監査を行い、次のように結果を報告いたします。

記

1. 会計監査について、貸借対照表、財産目録、活動計算書、財務諸表及び会計諸帳簿を精査した結果、経理関係は適正に行われており、財産状況を正しく示しているものと認めます。
2. 業務監査について、理事からの業務の報告を聴取し、関係書類閲覧を行い、業務執行の妥当性を検討した結果、事業報告の内容は正しいものであることを認めます。

平成28年5月23日

特定非営利活動法人

シルバーアドバイザー・ネット大阪

監事

菅原 義正 

第3号議案 第11期 事業計画（案）

I. 第11期 総括事業方針

- 1、各事業部の企画をより充実し、各事業部間の連携を図り、また地域や他の団体との共同企画や活動に参加することを一層積極的に進める事を検討します。
- 2、子ども達の健全育成や、安全で住みよい街づくりのための企画を進め、元気な高齢者が地域の活性化に努め、高齢者を支えられるよう貢献してまいります。
- 3、「介護福祉用具説明員」活動に代わる新しい事業活動を検討します。
- 4、会員の方の要望を取りいれ、会員の方がともに活動に参加できるような機会を多く作るように努めます。
- 5、高大をはじめ区民カレッジ、大阪アクティブシニア協会、校友会、シルバーアドバイザー連絡協議会などの関連団体との連携を一層促進して活動を活発に進めます。

II 事業部 活動方針

事業の実施に関する事項

1. 伝承おもちゃづくり府民塾事業部 活動方針

- ① 今期も、「おもちゃづくり出前教室」を通じて、わが国の「伝承手づくりおもちゃ」の手法を子どもたちや、その家族たちと共に楽しみながら作ることで伝えていきます。
 - ・数年来重点的に活動している「障がい者」への交流も継続的に行い「自分でつくり・遊ぶ」喜びを味わい、社会参加のキッカケづくりに役立ててくれればと考えています。
- ② また「区民カレッジ」受講生や「おもちゃづくり教室」参加者への「養成講座」を通じて更なる裾野を拓げる活動も引き続きで行い、子どもたちやその家族たちと楽しみや喜びを共有してもらえればと思っています。
 - ・「おもちゃづくり教室」に一般市民の参加を呼びかけることも積極的に展開していきます。
- ③ 高大や、区民カレッジ、SA 連協（校友会）との連携を深め、「出前講座」「教室」などを通じて幅広く技能や、情報を共有し、市民との交流を図ります。
- ④ 活動原資の確保のため、助成金活用以外の方策も重要なテーマで、衆智を集め収入増につなげていきたいと思えます。

2. おもしろ算数教室事業部 活動方針

- ① 出前教室の機会を増やしたいと思えます。継続的に長期間実施しているところでは、長らく参加している方が、目新しいパズルに対してもどんどん解き進んでいけます。しかし、最近参加し始めた方は、慣れないのでしょうか、なかなか解き進まない姿と対照的です。これは、今までの経験

が、パズルを解くことに活かされているのでしょう。

- ② 昨年実施した一連のサポーター養成講座を引き続いて、今年度も八尾市の生涯学習センターと共催で、実施することとなりました。
- ③ パズル体験の機会を増やすことと、テキストの販売を進めることにより、算数パズルを解く楽しさを、多くの方々に知っていただきたいと考えています。そこで、「おもしろ算数教室」とはどのようなものかを知っていただくために、体験会実施の機会を増やしたいし、多くの参加者を募りたいと思います。
- ④ サポーター会を、より充実したものにするために、次の様に取り組んでいきます。次の目標をたてて、楽しく活動できる会にしていきます。
 - (1) 新しいパズルを、互いに提案し合います。
 - (2) 新しいパズルを解き、パズルの点検をします。
 - (3) サポーター各々が、算数パズル体験を実施できる機会を探ります。
 - (4) 算数パズルのテキストの作成と販売に、力を注ぎます。

3.国際交流事業部 活動方針

- ① 国際交流事業部運営委員会を原則毎月第4月曜日に開催し、参加者に喜ばれる魅力ある企画立案と実践を目指します。
- ② 国際交流サロンを3回開催する予定です。
 - (1) 第34回は、7月17日チュニジアの Choyekh Mahdi さんを講師にお迎えして開催する予定です。
 - (2) 第35回は、秋に開催する予定です。内容については現在検討中です。
 - (3) 第36回は、平成29年2月前後に開催予定です。内容については現在検討中です。
- ③ 国際交流事業部の活動内容を検証します。
 - (1) 高大「国際文化交流科」との連携及びSA認定取得のサポートをしながら国際交流という切り口で協働できる体制を構築して行きます。

4.広報部 活動方針

- ① 広報紙の継続発行
 - (1) 広報紙「SA・ネット大阪ニュース」は、年3回(4月、7月、11月)の発行を目指し、継続して会員交流の場「かわら版コーナー」等内容をより充実させて発信します。
 - (2) 高大校友会のPRコーナーのラックにも継続した配架と「PRチャレンジ」等を増刷をして、SAネット大阪のPRに努めます。
 - (3) 関連団体の行事の「アクティブシニアフェスタ」や「高大文化祭」に参加してPRコーナーでSAネット大阪のPRに努めます。
 - (4) また、広報紙のカラー印刷化もコストを勘案、スポンサー募集等検

討します。

② ホームページの推進

- (1) SA ネット大阪主催のイベント「国際交流サロン」、「おもしろ算数教室」、「おもちゃづくり教室」等と引き続き「事業トピックコーナー」の充実で、定期的なホットニュースを発信します。
- (2) 関連団体の「高大」、「高大校友会」、「大阪アクティブシニア協会」やSA ネット大阪会員の主催する「千里英語サロン」、「おしゃべり会」、「会員活動」等の情報も随時掲載して更新を図ります。

第4号議案 第11期活動計算書予算(案)・・・・・・・・次頁を参照願います。